

統計学 受講上の注意 (2012 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目は 1 年次配当の「統計学基礎」に続く科目です。「統計学基礎」の要点を復習しながら推測統計といわれる部分を中心に講義します。

- 講義形態：教室における講義。PowerPoint を用いた説明と問題演習が中心となります。電卓を毎回持参してください。(ただし、電卓を使わない日もあります。) また、ノートパソコンを使用することもあります。その場合、前回の講義中および講義用 HP にて告知します。
- 出欠：講義開始時にカードで出席をとります。また、遅刻者には講義終了時に別のカードを配ります。出席は成績に若干加点・減点しますが、「講義内容を理解するためには、出席したほうがよい。」というのが私の基本的な考えですので、そのウエイトはあまり大きくありません。詳しくは下の「成績評価について」の項で説明します。
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。練習問題は、隣の人と相談しながらおこなうことはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

基本的には、中間試験(100 点満点)と期末試験(100 点満点) の合計で評価します。

それ以外に、小テストや宿題を何度かおこない、その内容に応じて加点(合計最大 25 点程度)します。出席点は次のような方式で算出し、最後の講義のときにふるさいころの目で倍率を求め、加減します。

- ✓ 出席点： 出席 1 回あたり 1 点、遅刻は 0.5 点で計算し、合計点から 15 点を引いたもの
- ✓ 倍率： さいころの目が 1,2,3 であれば 0 倍、4,5 であれば 0.5 倍、6 であれば 1 倍とする。

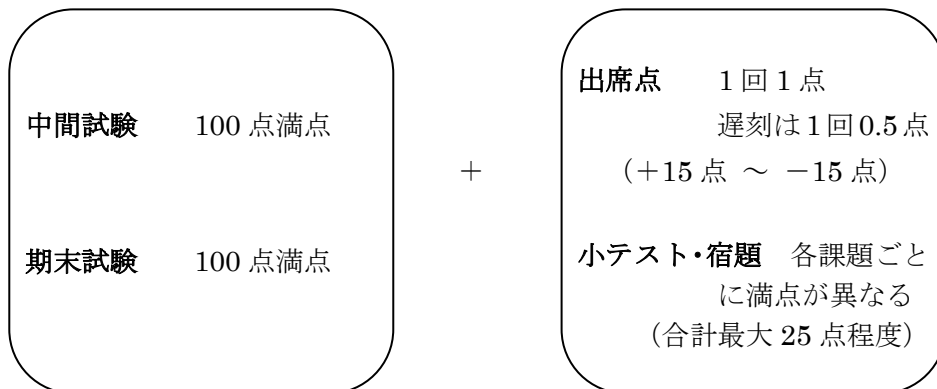
(例) 23 回出席し、2 回遅刻した学生がいた。最後の講義で出たさいころの目は 4 であった。

出席点： $23 \times 1 + 2 \times 0.5 - 15 = 9$ (点)

これを 0.5 倍した $10 \times 0.5 = 4.5$ (点) を加点する。

基本点(計 200 点満点)

加点・減点 (+40 点程度～-15 点)



以上の合計点が下のいずれかによって成績評価します。

優 160 点以上 良 140 点～159 点 可 120 点～139 点 不可 119 点以下

使用テキスト

各章ごとに PowerPoint スライドのハンドアウトを配布します。スライドは講義用 HP にもおいてあるので、ハンドアウトの文字が小さい人は、各自プリントアウトして用いてください。

講義とほぼ同等の内容を扱う以下の参考書をあげておきます。欠席の内容を補ったり、講義中の説明で十分理解ができなかった場合などに使用してください。

- 西尾 敦 (2006)『グラフィック統計学』新世社 2520 円
- 宮川 公男 (1999)『基本統計学 (第 3 版)』有斐閣 2835 円
- 佐竹 元一郎・野口 和也 (1994)『統計理論入門』中央経済社 3059 円
- 森田 優三・久次 智雄 (1993)『新統計概論 改訂版』日本評論社 3570 円
- 高橋 信(2004)『マンガでわかる統計学』オーム社 2100 円

(マンガなので十分な説明がされていない面がありますが、統計学の大まかなイメージをとらえるには良いかもしれません。)

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

講義時間中以外に質問がある場合には、**514 研究室**を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは木曜日の 4 限です。

また、e-mail での質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページ・Webclass

事務連絡、出席状況、課題提出状況、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。

講義内容をきちんと理解するためには、練習問題を多数解くことが近道だと考えます。そこで、Webclass にも、随時練習問題を用意していきます。ここには、講義の内容が十分理解できなかった人のための基本問題から、講義のレベルではもの足りないという人のための応用問題・発展問題などを用意していきます。練習問題の自習状況は、**平常点評価**として加点します。